

区長連絡協議会総会

養老町区長連絡協議会定例総会が5月28日（金）町中央公民館中ホールで開かれ、各地区からおよそ100人の区長が出席しました。総会では平成21年度経過報告、新役員紹介の後、安田澄雄会長が「経済不安などで先の見えない現状ですが、地域の皆さんで支え合って、住みよい養老をつくっていきましょう。」とあいさつをされました。続いて、長年にわたり区長や役員を務められた15人に賞状や感謝状が贈られました。

なお、表彰されたのは次の皆さんです。（敬称略）



- 【会長表彰】** 佐野芳忠（馬場町）、佐々木勇雄（五日市）、藤塚久治（養老白石）、安立正行（大巻寺町・堤）、水谷秀雄（大巻高柳）、加藤信夫（大巻小坪）、川瀬 普（上之郷）、山田清一（三神町7）
- 【町長感謝状】** 黒田 勝（東町）、藤江幸夫（相生町）、西脇則雄（西岩道）、高木岳南（三神町1）、田中 寛（寿町）
- 【特別功労賞】** 中島恵男（笠郷）、吉田 清（多芸西部）

7月は、第60回「社会を明るくする運動」強調月間です。

法務省主催の「社会を明るくする運動」の強調月間が7月1日から1カ月間全国一斉に展開されています。今年で60回目を迎えるこの運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、

犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするものです。そのためには、犯罪や非行から立ち直ろうとするこれらの人たちの意欲を認め、地域社会の中に受け入れ、見守り、支えていくことが不可欠です。

今日、急速な少子・高齢化と核家族化が進む中で、家庭・学校における教育機能の低下、社会の規範意識の希薄化、我が国において伝統的に犯罪を抑止する要因として機能してきた地域社会の連携機能の低下などが指摘されています。

このような中で、地域社会の住民が、公的機関の施策を求めるとどまらず、自らが主体となって安全・安心な社会を築くための地域社会の課題に積極的に取り組む試みが見られ、民間

の団体などによる犯罪・非行の予防のための活動が、新たな発展の時期を迎えています。

そのため、安全・安心な社会を築こうとする地域社会の取組を促進するべく、関係機関・団体の賛同を得て、地域住民の連携を強め、地域の犯罪や非行を抑止する力を増進するため、誰もが幅広く参加できる犯罪予防活動を展開し、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行に陥った人たちとの立ち直りを支えることへの理解と参加をお願いします。

標語

「立ち直る 決意を励まし 支える社会」

6月25日（金）、町中央公民館中ホールで養老郡推進委員会を開催し、推進要綱や今年度の運動推進計画を策定しました。

この日は、社明運動を展開するにあたり、岐阜保護観察所の別所良紀所長から稲葉町長に法務大臣と岐阜県知事からのメッセージが手渡されました。